

令和7年度使用中学校教科用図書審議会

第3回会議録

日時：令和6年6月25日（火）

18時00分～20時04分

場所：文京シビックセンター20階

教育委員会室

文京区教育委員会

令和7年度使用中学校教科用図書審議会（第3回）会議録

日時：令和6年6月25日（火）18時00分～20時04分

場所：文京シビックセンター20階 教育委員会室

「出席」	委 員 長	土 井 佳 奈
	委 員	諸 石 智 彦
	委 員	大 井 明 彦
	委 員	八 木 章 雄
	委 員	南 英 昭
	委 員	今 野 稔 恵

「幹部職員」	教育指導課長	山 岸 健
--------	--------	-------

「事務局」	統括指導主事	高 橋 拓 也
	指 導 主 事	上 野 義 博

○ **担当** それでは、定刻となりましたので、これより始めさせていただきますと思います。

本日は、浅野委員と田中委員が御都合により欠席ということで御連絡をいただいております。したがって、第3回の出席者は7名ということで進めてまいります。

資料の確認をいたします。

配付資料は次第の下にございます資料1、答申文案。

資料2、令和7年度使用中学校教科用図書審議会（第2回）の会議録となっております。

過不足はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、早速、委員長に審議を進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○ **委員長** それでは、皆さん、こんにちは。本日、7名ですけれどもよろしく願います。

それでは、ただいまより、令和7年度使用中学校教科用図書審議会（第3回）を開会いたします。まず初めに、審議の進め方について申し上げます。

第2回の審議会に続きまして、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、特別の教科道徳の教科用図書検討の上、令和7年度より文京区立中学校が使用する教科用図書として望ましいものを答申するための審議をしていただく予定です。

審議を進めるに当たりましては、調査研究委員会のまとめ、基礎資料を基にしていきたいと思います。もうお読みになってきた方も多いため、どんどん進められればと思います。

配付資料につきましては、先ほど事務局よりあつたとおりです。

最後に、記録の情報公開について申し上げます。

本審議会の審議内容については、個人名を伏せて、話を要約させていただいたものを記録としてまとめることになっています。記録については8月31日まで時限秘となり、それ以降、情報公開の対象となりますので、御承知おきください。

よろしいでしょうか。

では、まず、理科から進めていきたいと思います。

○ **委員** 大日本だけ普通の大きさで、理科はこの大きさに。実は理科からこの大きさが始まったのだよね。

○ **委員長** 大きさは、大日本印刷以外はこのサイズになりますね。

大日本印刷は、ほかと比べると写真が小さいと言われてはいますが、中を見るとそんな感じなのか。

○ **委員** 写真を大きく見せるためにこの多さということなのだね。

○ **委員** 誌面を大きく。

○ **委員** 力学はもうSI単位なのですね。ニュートン。

- **委員** 単位はどの会社も全部統一だと思います。単位はいろいろ変わってきているけれども。
- **委員長** 見やすさとか、写真もそうですけれども、中をぱっと見て、気になるところとか感じる場所があったらおっしゃっていただければ。どこの教科書からでもいいのですけれども。
- **委員** 東京書籍は、写真というか図式が非常に。中三でもこんなに多く出るので、分かります。
- **委員長** 色も鮮やかですね。
- **委員** 見やすいといえば見やすいですし、目移りしてしまう。
- **委員長** デジタルコンテンツなども、理科は割と目の前で実験ができなかったりもするので。
- **委員** そうなのですね。ただ、教育出版のほうはまだ文章のほうが多いような気がしますけれども。
- **教育指導課長** 1年生の教科書を全て見ているのですけれども、例えばどの教科書も、活用の仕方とかICTの活用とか、例えば、啓林館なども7ページにそういったものがあるのですが、東京書籍は18ページに「レポートの書き方」というのがあって、理科の場合、その観察・実験、それをレポートにまとめるという作業が多いかと思うのですけれども、一例しか載っていませんが、非常に分かりやすいかなと見て思いました。
- **委員長** 最初に覚えておくべきところですね。
教育出版のところに赤字で書いてあるところが、赤シートで勉強しやすいと書いてあるのですけれども。子供たちは赤い下敷きみたいなシートで覚えたりしますよね。でも、そんなにたくさんあるわけじゃないのか。
- **委員** そんなにない気がしますけれども。
- **委員長** 意外と、ここに書いてあるほどはない。
- **委員** 1ページに1か所、2か所ぐらい。
- **委員長** 例えば、教育出版の1年生の198ページなどは、要点と重要用語の整理のところ赤いものがいっぱい書いてある。テスト用ですかね。
何か気になるところはありますか。
- **委員** 今、東京書籍を見ているのですけれども、たまたま38ページ辺りを見て、実験の説明なのでも、この説明と図の関係が分かりづらいなという気がします。
- **委員長** 何年生ですか。
- **委員** これは2年生です。38ページ目に出ていて、鉄と硫黄が結びつく変化というところで、何となく知っているので、この絵はこの説明のところだろうなというのは分かるのですけれども、何も知らないと、この写真とか図が、どこの説明に対するものなのかが直感的に分かりづらいなという気がしました。
- **委員長** これは動画で補う。

- **委員** そこは実験で救急車とか呼ばれるようなところで、実験のやり方が教科書会社によって安全性も含めて多少違うのです。「教科書に書いてあるからこうやったのです」とかと理科の教員は言うのだけれども、そこは結構大事で、いいところだなと思います。
- **委員長** 気になるところは何かありますか。学校図書、何か御意見はありますか。
- **委員** 結構字が小さいですよ。何か違うのか。
- **委員** 絵が少ないです。
- **委員長** 学校図書、書いてありますね。「合理的配慮が必要な生徒にとっては難しさがある」と。
- **委員** 難しそうな気がします。
- **委員** ちょっと参考書チックな。
- **委員** 情報量が多い感じがします。
- **委員長** 啓林館は、何か気になるところはありますか。
- **委員** 啓林館はページ数が多いですね。3年生で390。
- **委員** 学校図書の2年生のを今見ているのですが、20ページで、ほかの教科書に書いてあるかないか分からないのですけれども、実験の手順の中に「注意」と、しっかり目立つような注意事項が、今、南先生がおっしゃったようなことが細かく書いてあるので、これは、安全性という意味ではいいのかなと思いました。
- **委員長** 実験を比較してみると分かりますね。
何かありますか。
- **委員** これとって、今、特徴的なところを見ていないですけれども、どれも本当に絵は大きいし、説明が少なめでどこの教科書も書いているのかなという印象です。
- **委員長** どこも工夫した感じがしますね。
では、理科、よろしいでしょうか。
次、音楽に行ってもよろしいでしょうか。
音楽は2種類あるのです。一般と器楽。器楽は後から。
器楽は後から一冊ずつになります。それで、音楽の「一般」というのが、音楽1、2・3の上と2・3の下という分かれ方になっていますかね。会社は2つ、教育出版と教育芸術社になります。
教育出版の資料1のまとめを見ると、学習マップというところですよ。音楽1のところの8ページ、ここの部分について触れられていますけれども、一方で、芸術社というのは、8ページを見ると、観点別の狙いが分かるようになっていますが。音楽を進めるに当たってどうなのですかね。
何かありますか。どうぞ。
- **委員** 教育出版のほうが、学習マップだけ見れば取っつきやすそうな気はしますけれども。分かりやすく書いてある気がします。
- **委員長** 音楽1の教育出版の30ページのところのことが、このまとめにも書いてある

のですけれども、パートごとの解説がカラーで書かれているから視覚的にも理解しやすいというのがあるのですけれども。色で見られるようになっている。

どうぞ。

○ **教育指導課長** 両社とも、左側に、例えばピンク色のところで「曲の特徴を生かして歌おう」とか、様々工夫されたところで、目次っぽく見開きのところが見やすいというのはあるのですけれども、例えば、最後の国歌のところしか両方同じのを比べるところがなかったのですが、教育芸術社のほうが98ページで、教育出版のが86ページ、こうやって見ていただくと、多分、子供がこうやってぱっと見たときにどちらが歌いやすいのかなと思うと、自分は視覚的には教育出版のほうが歌いやすいとか見やすいと感じました。色も全体的にカラフルなのかなと。

○ **委員長** 情景が浮かぶような感じもありますよね。

○ **教育指導課長** はい。工夫というか。

○ **委員** これは、調査のまとめのほうには明確に書かれていないのですが、この2つを比べると明らかに何か違うのです。何かというと、教育芸術社のほうは、いろいろQRコードがついていて、カラオケというか音が出るのです。

教育出版のほうは、基本的にはワークシートみたいなものは出るのだけれども、最初に教育出版を見ていて、そういうのではないなと思って、これは著作権か何か関係あるのかなと思いながら、でも、こちらの教育芸術社は、パート別のカラオケ、ピアノがあったり、音で自分で、教員がやれば、別にこれは必要ないのだけれども、自分で何か音を出して聞いたりしてできるのがいっぱいあるのです。これは、教育出版のほうは違う形でどこかにあるのかなと思いながらも、でも、探してもあまりないなと思っています。これは、明らかに2つの教科書では違うかなと思っています。

○ **委員長** デジタルコンテンツという部分ですよ。

○ **委員** 自分で歌の練習ができるのだなと思いました。

○ **委員長** 何かありますか。

○ **委員** 教育芸術社のほうが最近の音楽も網羅していて、生徒さんは取っつきやすいのかという気がしました。

○ **委員長** ポピュラーな感じ。

○ **委員** そうです。

○ **委員長** 教科書のぱっと見も違いますよね。表紙を見ていても。

○ **委員** こういうほうがいいのですかね。漫画、アニメチックな表紙のほうが。

○ **委員長** 何かありますか。

○ **委員** 気のせいもあるかもしれないですが、教育出版の印刷というか紙質が目にも優しいような気がしました。てかり具合が少ないというか。

○ **委員** 中もそうですね。

○ **委員** たしかに、教育芸術社はてかっていますよね。

○ **委員長** 教科書らしい感じがします。

○ **委員** まさにそのとおりです。

○ **委員長** いいと思います。

そんなところですかね。

○ **委員** 今、同じ2・3上のバッハの『フーガ ト短調』のところを見ているのですけれども、教育芸術社のほうが「旋律が重なり合っていく面白さを味わおう」となっていて。

○ **委員長** 何ページ。

○ **委員** 36ページです。

教育出版は「曲の形式を捉えパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう」となっていて、どちらも特徴は捉えているのですけれども、鑑賞だったら、子供だったら、教育芸術社のほうが曲に対する意識を持ちながら聞きやすいのかなと。「曲の形式を捉え」というのが、子供には難しい表現かなと思います。

オーケストラの鑑賞教室が、文京区の3年生はあるかと思うのですけれども、オーケストラのところのページも見比べてみると、楽器紹介が、教育芸術社はページの中に入っているのですが、こんな楽器があるよねと振り返るときに、ページが開きにくいかなと思うのですけれども、教育出版のほうは一番後ろに開いて見られる形のものがあって、演奏の仕方も、どれもが全身が写っている。教育芸術社のほうは、上半身だけで、チェロとかコントラバスみたいに立ってやるものとか座るのが特徴的なものは全身が載っているけれどもというところなので、どちらの教科書も一長一短があるのかなと思いました。

○ **委員長** そういう視点もありますね。

では、特徴的なところが出たというところで、よろしいでしょうか。

次へ行きます。器楽の比較になります。

何かありますか。

○ **教育指導課長** 和楽器というか、琴とか三味線を、今、学校で取り入れている先生が多いと思うのですけれども、その見え方が、例えば教育芸術社は45ページに三味線があって、教育出版は48ページにあるのですが、見比べていただくと、どちらが見やすいかなというところで、手順とかそういうのは、多分、教育出版のほうに細かく記載されています。

○ **委員長** 確かに分かりやすいです。

まとめのところにも具体的な写真が大きく掲載されているということも、写真つきというのが割と出てくるのが教育出版ですね。

○ **教育指導課長** 40ページに琴があるので、琴とかは、両方を比較すると見やすさが分かるかもしれないです。教育芸術社が34ページ、教育出版のほうに40ページ。

○ **委員** おっしゃるとおり、教育出版のほうに何となく遣いは分かりやすいような気がします。

○ **教育指導課長** 指の番号とかが書いてあります。

○ **委員** 芸術社のほうは書いていないです。

○ **委員長** そこは大きいですね。

太鼓なども、教育出版の60ページと芸術社の51ページ、52ページなども、また比較もできますね。

○ **委員** 楽譜も教育出版のほうが見やすい気がします。和楽器のところとかは。

○ **委員長** 他に何かありますか。

○ **委員** 全体的に教育芸術社のほうが、写真が小さいのかなと思います。

○ **委員** 教育芸術社は、さっきほどではないのだけれども、音が出るのです。だから、音を自分で確認できたりということが、教科書の使い方にもよるのだけれども、自分でこれをやると音がいろいろ出てきたり、これは動画で結構出てきたりするのかな。

○ **委員長** その視点は特に書いていなかったですね。デジタルのことは。

○ **委員** それは明らかに違う。

○ **委員長** どうぞ。

○ **担当** 音楽の担当からですが、まとめには今書いていないのですが、二次元コードのことについては、基礎資料のほうに書かれております。器楽もやはり同様に、二次元コードは、教育出版のほうが、読み取ると動画や音源を視聴することができるかと書いてありまして、教育芸術社のほうが、先ほどおっしゃっていただいたように、二次元コードがついているページが多いです。その関係で、視聴するだけでなく、歌唱や合唱など、個人での練習が進められると書かれております。

以上です。

○ **委員長** ありがとうございます。

では、御意見が出たところでよろしいでしょうか。

では、次に行きます。美術です。

美術は3社。大きさは同じ。

3冊あるところと2冊のところがあります。開隆堂が2冊、光村は資料編を含めて3冊です。

○ **委員** 開隆堂さん、すごいですね。

○ **担当** まとめの方にも書かれております。

○ **委員長** 「触覚的に驚きがある」と書いてありますね。これが開隆堂。すごいな。びっくりしてしまった。デジタルコンテンツも豊富と書いてあるけれども。ちょっと見比べてみてください。

○ **委員** 基礎資料にも書いてあるのですけれども、2・3年生用のほうの27ページ、42ページで、「日本の絵画を楽しむ」というところが紙が和紙調となっていて、つるつるてかてかよりこちらのほうが趣がある感じ。工夫がされているなどは思いました。

『鳥獣戯画』、こんなに大きいんだ。

○ **委員長** 『ゲルニカ』も見開きで。

○ **委員** 実物は全然サイズが違いますからね。

- **委員** イメージが。
- **教育指導課長** 1年生の光村の『風神雷神図』もすごいです。ちなみにこんな感じになっています。すごく大きくてきれい。
- **委員長** びょうぶの絵になっていて、工夫されていますね。
- **教育指導課長** 日本文教出版の1年生のほうも、やはり同じようにあるのですけれども、何かダイナミックさが。光村のほうは。
- **委員長** 本当ですね。びょうぶ、仕掛け、やはり迫力が違います。
- **教育指導課長** 色が大分違いますよね。本物に近いというか。
- **委員** 絵とかは、「実物が見たいな」と思うほうがいいですよ。
- **委員長** どうですか。もう見たくて。
- **委員** 開隆堂さんの見開きでも、拡大した原寸のが出ていて、これも油絵ならでは、いいのかと思う気がします。
- **委員長** 原寸大のが出ている。
- **委員** 拡大しているところで、これが原寸ですよ。28ページ。
- **委員長** この見開きもきれいですね。

開隆堂さんのデジタルコンテンツはどうですか。

- **委員** 美術の教科書は、多分、ほかの教科書が随分写真とかが増えてきているのだけれども、これが、一番見せるというところでは、どれもすごくよくできているかなとっていて、みんなきれいだし、見せて驚かせたり興味を持たせたりというところがあるのでいいのですけれども、逆に、これを使って学ぶというところの視点で言うと、どうなのかなと。

特に、日本文教出版は説明みたいなもの多くて、これがいいのか悪いのかというのは分からないのだけれども。写真の美しさとかだと光村のほうがやはりきれいかなと思って、説明は日本文教出版とかで、間ではないけれども開隆堂が量はあるかな。

- **委員長** どうぞ。
- **教育指導課長** どの教科書会社もそうなのですが、例えば光村は、43ページにゴッホの作品があって、開隆堂のほうは、1年生の14ページ、日文のほうは30ページ。かなり見た目の大きさとか紙質とか、先ほどお話があったように、文字が大きくて写真が小さいという感じがあるので、美術の場合には鑑賞の幅広い活動を通して創造的な見方とか考え方を働かせというところで見ると、やはり、ぱっと見で、子供たちの教科書の作品に対する印象というのが大きく違ってくるのかなと感じました。光村のほうはかなり大きいですね。
- **委員** 色が違いますよね。同じ絵なのに。
- **委員長** 光村はいろいろ工夫してあるなという感じがします。

何かありますか。

- **委員** 光村がやはり見やすい気がします。
- **委員長** 日本文教出版の表紙だけ見ると面白いですよ。洋画と日本画と写真。この

写真、どこで撮っているのかとってしまう。

- **教育指導課長** これはどこでしたか。
- **委員** これは新潟。
- **委員長** トンネルがあるのですよね。
- **教育指導課長** トンネルを抜けるとこのように見える。
- **委員** インスタ映えするところ。
- **委員長** 他に何か気になるところがありますか。
- **委員** 単純に、開隆堂が、いわゆる2・3年生で1冊にしているのがいいのか悪いのか。結局、重くなるということですよ。でも、両方の学年で使うのだったら、内容が共通するのだったらこちらのほうがいいのかもしいないし、その辺はよく分からないけれども、なぜ、これが1冊なのかなど。
- **委員** 基礎資料のほうに美術だけ重さが書いてあるのです。3年間分の合計があつて、そうすると開隆堂が実は一番軽い。
- **委員長** 重さを量ったのですね。
- **委員** 軽いにこしたことはない。
- **委員** 3年分一緒に持ち歩くことはないから。
- **委員** そもそも美術などは置き勉。
- **委員** 置いておきますよね。持って帰らないですよ。
- **委員長** 持って帰ったりはしないと思うのです。
- **委員** あまりしないですよ。
- **委員長** では、美術は出尽くした感じでしょうか。よろしいでしょうか。

では、次に行きます。続いて保健体育です。保健体育は4種。

東京書籍は第1章にもう保健編が入ってきているのですね。

- **委員** 学研は文字が多いような気がします。
- **委員長** これはUDフォントを使っているのですか。ユニバーサルデザイン。だからちょっと文字が。間隔が空いていますよね。
- **委員** でも、みんな、一番後ろ見るとUDフォントとは書いてありますけれども。みんな環境に配慮した紙とかインキとか書いてある。
- **委員長** 大修館はちょっと文字が小さいような気がします。
- **教育指導課長** 教科書もちょっとだけ小さいです。本当に微妙にちょっとだけ小さいです。
- **委員長** 大日本図書が。
- **教育指導課長** 大日本図書です。これ1冊だけ。

今、生殖器の機能の成熟のところを全部開いて見ているのですけれども、会社によって図の色とか、先ほどあった文字の大きさもかなり違うのがよく分かります。大日本図書のほうが、教科書がちょっと小さい分、文字が小さいというのと、図を見ていただくと、生

殖器の、子供たちにとってはデリケートな部分なのですけれども、色合いが、大日本図書と特に大修館、何か色合いがよくないなという感じがします。自然に見えるのが学研と東京書籍。

単元の持っていき方の感じはどちらもあまり変わらないような感じではあると思います。

○ **委員長** 学研の51ページの絵などは分かりやすいですね。

何かありますか。

○ **委員** 大修館のイラストの専門書が、いわゆる医学書っぽい感じなので、それがいいのか悪いのかよく分からないのですけれども。

○ **委員長** 何かありますか。どの部分でもいいのですけれども。

○ **委員** 確かに大日本のほうがより詳しく書いてあるからあれですけれども。ちょっとリアルですかね。

○ **委員** 大日本図書さんはQRコードがちょっと少なめですか。探さないといけないかもしれない。

○ **委員長** 東京書籍は、割とコンテンツが多い。

○ **委員** 学研は結構多いかなという感じがします。大修館はちょっと少なめ。

○ **委員長** 昔に比べて感染症の部分が大きく取り上げられるようになりましたね。どこもそうだな。こんなに取り上げていなかったですけれどもね。

何かありますか。

○ **委員** 保健体育の範囲が昔と違って広がっているのかなと。犯罪被害の防止とか、そんなの保健体育の範囲に入っていたのかなとちょっと思ったりして。

○ **委員長** 取り扱う量が増えましたよね。

でも、3年間でやる量、多いですね。

何かありますか。

○ **委員** ちょうど、私、お昼に薬物乱用防止教室に行っていたので見ているのですけれども、依存症とかそういうのが載っているのがないかなと思っていたのですけれども、あまりないかもしれないです。

○ **委員長** 薬物は必ず取り扱うところですが。

○ **委員** 東京書籍が、喫煙、飲酒、薬物乱用しないための対処みたいなのが書いてあって、ほかは害とか社会的影響までかなという感じはします。きっかけと対処があるのか。大修館は、何かそうならないようにみたいな部分も書いてあるといいのかなと思いました。

○ **教育指導課長** 今、おっしゃってくださったページのところの部分も、「見つける」「学習課題」「課題の解決」と一連の流れになっていて、読み物としては見やすいなど。ほかの、例えば東京書籍ではなくても、大日本図書なども「学習の狙い」や「つかもう」というのがあるので、例えば場所が異なるところに書いてあったりとかするので、流れとしては、もしかすると子供が学習するには見やすいのかもしれないです。

今日の単元ではこれをまず見つけよう、課題はこれなんだ、それを解決するためには、

どういふことを探究していく、深めていけば、そこにたどり着くんだという見方としては見やすいのかなと思いました。

○ **委員長** 全社出ましたかね。

どうぞ。

○ **担当** 調査委員会のほうでは、レイアウトが割と、写真、資料がページの中に適度に組み込まれていたり、会社によって右側に資料が寄っていたり、それぞれのよさはあると。例えば、大日本図書では右側に資料で左側が文章、そういうレイアウトになっていると。それぞれ会社によって、そのレイアウトが、読みながら、見やすいところとか、まとめてあるから見やすいとか、それぞれの会社のよさがあるのかなということで話では上がっていました。

○ **委員長** 何かありますか。

○ **委員** 色づかいが会社によって全然違うなと思っていて、見え方は人によって違うので分からないのですけれども、見やすいのと見にくいのとあるなと思います。

あと、学研は、キーワードというのが見開きのページの左上のほうにあって、学習しやすかったりするのかなとは思っています。

○ **委員長** では、大方出ましたかね。保健体育を終わりたいと思います。

技術に行きます。

3社ですね。東京書籍、教育図書、開隆堂出版。

何かありますか。

○ **委員** 違いというより、情報技術系の内容がすごく増えているなという単純な感想なのですけれども。

○ **委員長** 紙の質は、東京書籍は使いやすい紙質ですけれどもね。

何か気になることはありますか。

○ **委員** 私は東京書籍が見やすい気がします。

○ **委員長** まとめどころの東京書籍の5番に「タブレット学習向きで使いやすい」というのも入っているのです。技術科というのは、本当にタブレットが一番技術的にも、ここで学んでもらって、子供たちがほかの教科にも使えると。

教育図書は「スキルアシスト」が入っているのですね。2冊になるということ。

教育図書、どうですか。見やすさとか。

○ **委員** 教育図書は、作業のときの安全というのが結構分かりやすいかなと思ったのですけれども、東京書籍はちょっと分かりにくいかなと思って。作業手順のところの木材の加工とかの、こういうところ、安全に気をつけましょうみたいなのが、東京書籍よりは教育図書のほうが分かりやすいかなと。東京書籍はどこかにまとめて書いてあったような気がして。

○ **委員長** 何かありますか。

○ **委員** 個人的には、開隆堂さんがちょっと見づらい感じがします。説明はできないの

ですけれども。

○ **教育指導課長** 技術の場合、生活とか社会というのを、環境と関わりながらというところで理解を深めるというのも非常に大きいのかなと思っていて、その中で、教科書会社3社を比べてみると、開隆堂と東京書籍は、意図的に生活とか、実際、子供たちが関わっていくような問題について、各単元で取り上げられているような流れな気がします。

教育図書のが、比較的今までと同じような感じで単元、もちろん、身近な問題をという表現はあるのですけれども、あまり意図的ではないかなと。

あと、先ほどあったように、開隆堂と東京書籍の見方というのを見ると、はさみの使い方などは開隆堂はすごく簡素に載っているのですが、これが皆さんが見るとどういう見え方で見えるのかなと。

○ **委員** はさみの使い方。

○ **教育指導課長** ちょっと待ってください。何かすごく簡素化した書き方になっている。すみません。先、進めておいてください。

○ **委員長** ここが気になるなというのでもいいです。

○ **教育指導課長** すごく前のほうなのですけれども、10ページの、身の回りの製品の技術ではさみが載ったりしているのですけれども、本当にはさみがばんと載っかっていて、周りにちょっと説明があるみたいな作りで、これが見やすいと感じるのか。

○ **委員長** 中学生で使うとしたら。

でも、大体、全社出ましたか。

どうぞ。

○ **担当** 調査委員会のほうでは、技術科の教科の特徴としても、やはり身の回りの技術とかに目を向けたりするということで、「最適化」という言葉がキーワードとして挙がっています。例えば、東京書籍の78ページ、材料とその技術の最適化というところで、身の回りの技術はこのように配慮されているというようなところとか、開隆堂ですと17ページ。教育図書のほうでは取り上げが少ないということではあったのですけれども、30ページ、こういったところの内容については、すごく先生方も注視しているところで、この3社を比べていただけたらと思います。大分、東京書籍が、この最適化については重点を置いたような書きぶりではないかと。複数のページにわたって書いてあるというところの意見が挙がっております。

○ **委員長** このまとめのところにも、4ページにわたってと書いてあるのと、ほかは簡素であるということが書いてありますね。最適化のページについては。

では、そんなところでよろしいでしょうか。

技術科は終わりです。家庭科です。

何かありますか。

○ **委員** 家族・家庭生活というのは私の時代には全くなかったもので、今、こういうのは家庭科でやるのですか。

- **委員長** ぱっと見て、見やすさとかはどうですか。
- **委員** 見やすいとは思いますがけれども、要点がばらばらになっているという気もしないでもない。
- **委員長** このまとめのところには「実物大や具体的な材料が適切に配置されており」と書いてあるのですけれども、46ページ、47ページとか、食品の大きさが具体的に、分量とかが目で見て分かりやすい。
- **委員** 実物大のようなあれなのでしょうね。
- **委員長** デジタルコンテンツも多いのが特徴なのかなと。
何かありますか。
- **委員** 今、たまたまミシンの使い方というのを見ていたのですけれども、教育図書さんは、182ページに資料としてすごく細かく載っているなというのがありました。
- **委員** ミシン、家にないですよ。ありますか。
- **委員** うちはある。
- **委員** うちにはミシンないです。
- **委員長** ミシン、学校でしか使わない子が増えているかもしれないです。
糸かけの順番とかね。
- **委員** 開隆堂さん、216ページに同じような感じであるのですけれども、教育図書さんのほうが細かいのかなと。
- **教育指導課長** 細かくて見やすいという感じですか。
- **委員** 逆にいろいろ細かく書いてあって、分かりやすい。
- **教育指導課長** ちなみに、東京書籍は146ページです。これ3つを比べたときに。
- **委員長** ミシンね。
- **教育指導課長** はい。
- **委員** 逆に、教育図書は情報が多いのかもしれない。
- **委員長** 教育図書は「情報量が多い」とも書いてありますね。
- **教育指導課長** 先ほど二人で衣服の手入れのところを見ていたのです。東京書籍で126ページ、開隆堂が214ページ、教育図書が172ページ、この辺も、カラー刷りの部分とか、あとは、運針しているところの丸印がついているのです。番号で。これの見方なども比べていただくと、視覚的にどれが見やすいのだろうなど。好みの問題もあると思うのですけれども、かなり3社の違いが分かるというか。
東京書籍の128ページのところに、すごく大きく手元が写っているのがあって、ほかはない。
- **委員長** 手元、分かりやすいですね。
- **教育指導課長** はい。このまつり縫いは。
- **委員長** 開隆堂の214ページは、「QR」と緑のところを書いてあるけれども、これの動画が見られるということですよ。でも、これほど見られますよね。

何かありますか。

○ **委員** これに関しては、割いているページ数が随分違うなと思って、東京書籍さんは4ページ丸々使っているけれども、開隆堂さんは本当に1ページだけということですよ。

○ **委員** 家庭科は、高校で新しい授業で「金融」が入ってきて、今、消費とかそこを見ているのだけれども、中学校のほうでは、金融というほどではないのだけれども、消費とか契約とかそういうことに関してあって、教育図書が、大体その量が大体1.5倍ぐらいあるのですよ。多ければいいという問題でもないかもしれないけれども。

逆に言うと、その部分で分かりやすいのは、開隆堂とかのほうが整理されていて分かりやすいのだけれども、18歳に成人が下がって、特に、中学生のそういう契約トラブルとかそういうことが結構詳細に、すごく量が多く中学校で扱っていて、中学生としてはそれをやってほしいから、それが量なのか分かりやすさなのかということではいろいろあるけれども。

○ **委員長** 確かにここは詳しいですね。

○ **委員** 2つは最後の章だけれども、どこかは後ろから2番目になっていた。順番が違うのだと思います。東京書籍が後ろから2番目になっているのだよね。あとは両方最後。

○ **委員長** 教育図書は最後にシールがついていますね。食品のシールが。きっと使うのですね。

○ **担当** では、そこを少しだけ説明を。

そこは調査委員会のほうでも出たのですけれども、食品を、料理とかを分けて、栄養素、自分で献立を考えるとという学習があって、東京書籍だと50ページ、教育図書ですと92ページ、それから、開隆堂ですと166ページ。1日分の献立を考えるとというところで、教育図書はシールを使って自分で貼っていくということができのですが、東京書籍はデジタルコンテンツで、自分で献立を入れて勝手に計算してくれるという、大分デジタルのほうでこの学習を進めるというところが、すごく特徴的だという意見が出ています。ぜひ、携帯で。

○ **委員長** では、特色も出たところで、ほかに何かありますか。

よろしいですかね。では、家庭科、終了です。

次は、英語です。

大きさがまず違いますね。どの大きさが使いやすいのだろう。

○ **委員** 中一から結構難しいですよ。

○ **委員** でも、小学校でちょっとやるのですよね。

○ **委員** 小学校でやっているから。昔、中一はアルファベットから入っていたから。

○ **委員** 大文字・小文字から。

○ **委員長** 小学校英語が入ってきていますからね。

○ **委員** 文章よりも漫画のほうが多い情報が多いですか。

○ **委員** それはどちら。

○ **委員** 『Here we go』、入りやすいのかもしれないけれども、そこまで情報が要るか

などという気がします。

○ **委員長** 感想からでもいいので、何かあったら随時言ってください。

○ **委員** 『Sunshine』だけ作りが全然違いますよね。いわゆる、文章が、最初、ほとんどなくて、写真が多くて絵が多くて、簡単といえば簡単なのでしょうか。

○ **担当** 補足いいですか。

今のところも調査委員会が出てきまして、おっしゃるとおりで、『Sunshine』、開隆堂のほうですが、これは先に文法を押さえてから文章に入ってくというような構成が、この会社に関しては特徴として挙げられるのです。先に簡単なトピック、このイラストみたいな形で、文法を押さえてから文章に入っていくという会社の特徴があるという話で、それ以外のところは、おっしゃるとおり、文章を読みながら文法をやっていったり、そういう構成は各社それぞれ考え方があります。その辺も調査委員会で話には出ておりました。

○ **委員長** ほかにそういう特色があるのはあるのですか。

○ **担当** 特に、今おっしゃった文法を先に押さえるというのが開隆堂さんで、ほかの会社のところは、割と文章から入って行って、もちろん文法の学習はするのですが、文法をする箇所は会社によって少しずつ違うのですけれども、そういう特徴がそれぞれの会社であります。

○ **委員長** このまとめのところを見ていると、三省堂の5番に「デジタル教材にAIが自分の発音を採点してくれる”発音チェック”の機能があり、自立学習につながる（ただし動作は不安定）」というのがある。

○ **担当** 例えば、2年生の2ページ、3ページのQRコードがもし携帯とかで読めると、ここを読んでもらうと、自分で入れてみてチェックしてくれるというような、AIが自分の発音を採点してくれるような形が、三省堂の2ページ、3ページに。

どこからでもQRはアクセスできるのですけれども、『New Crown』の三省堂のところ、例えば2年生で言うと、2ページ、3ページに小さいQRコードがあって、ここを携帯とかで読み込んでもらうと、その中の機能の一つとしてAIの採点、調査委員会のほうでも入れてみて発音をチェックしたけれども、記載のとおり、まだ取り入れたばかりということもあるのか、その認識がちょっと不安定で、いい発音をしても、なかなか読んでくれないというところが調査委員の先生たちのところであったと。

○ **委員** すごい。発音チェック。

○ **委員長** そういう意味で言うと、教育出版も、5番のところに「自分の声を録音して再生する機能があり」と。デジタルは大分進んでいるのですね。

○ **委員** 英語が一番すごい。最初は読んでくれるだけだったけれども、いろいろなものがある。

○ **担当** 聞き取るというところでは、各社に二次元コードで、もちろん、音声はどの会社も、聞くというところは日常的にあると。各社力を入れているところかなと。

○ **教育指導課長** 東京書籍などは、一番見開きのところにいろいろなのが。スマールト

ークとかビデオレターとか、すごくいろいろなコンテンツが。

○ **委員長** 光村とかはどうですか。何か御意見はありますか。『Here we go』。

○ **教育指導課長** 光村は登場人物が決まっています、多分ストーリーになっているのですよね。それが子供たちにも受けがいいとか、入りがいいかもしれないです。25ページに主な登場人物が書いてあって、それが、多分、この物語がずっとスクールライフみたいな感じにつながっていくのだろうなど。

○ **担当** 補足させていただいてよろしいですか。

その点も調査委員会のほうで出ていまして、それぞれの教科書の目次のところを見ていただくと、バラエティー豊かにいろいろなジャンルを取り扱っている会社もあれば、今おっしゃっていただいたように、スクールライフみたいに登場人物が決まって、ずっと中学校のスクールライフで話が進んでいっているところがあると。

いろいろな工夫があるのですけれども、やや苦手な子とかが、自分の発達段階で感情移入を同じ中学校ライフでするので、話がつながっていると、ちょっと英語が苦手だけれども、次、どんな学習になるのかなということ、苦手な子もそのストーリーから入っていきやすさはあるし、もちろん、バラエティーに、それぞれいろいろなSDGsを取り上げたり、各単元の目次で見ていただくと、違うところ、バラエティーがあるところもいいし、ストーリーがあるところもいいしということで話が、調査委員のほうでも確かに出てきておりました。

○ **委員長** 面白いですね。

光村の5番のところにも「『やりとり』と『発表』両方のパターンのモデル動画を観ることができる」とも書いてあるので、ここも工夫されているのかなと思っています。

啓林館はどうですか。

○ **委員** 啓林館は、ほかのものと比べるとシンプルな教科書っぽいイメージがあります。

○ **委員長** まとめのところには、「文字の色がやや薄くて見にくさがある。また、イラストが中学生にとっては意欲を高めにくい」と書いてあるのですけれども、イラスト、確かにシンプルですね。

○ **教育指導課長** まとめというのはこれですか。色が薄くてというのは。

○ **委員長** 啓林館、色が薄くて、イラストもシンプル過ぎて、子供たちが意欲的に学びにくい。

○ **担当** こう比べると少し。こちらが啓林館。

○ **教育指導課長** 薄い感じがします。

○ **担当** イラストがシンプル、そのよさもあれば、それぞれの比較ですから。

啓林館は文書量が多いので、割とシンプルな作りにもしかすると感じる。ほかの会社と比べると文章量が多いというところは挙がっておりましたので、そうすると、割とシンプルな構成になっているとお感じになるかもしれないです。

○ **委員長** 最初の『NEW HORIZON』は何か御意見はありましたか。

- **教育指導課長** 『NEW HORIZON』、私、出しました。最初の見開きのところにいろいろなコンテンツが載っていると。
- **委員長** 『New Crown』も出ましたね。
- **教育指導課長** 出ました。
- **委員長** 教育出版は出ましたか。
- **委員** 長文があるときに、Words & Phrasesみたいなのがよく右側に書いてあるじゃないですか。教育出版だけ左側なのですよ。「だけ」かどうか分からないのですけれども。
- **委員** 左側のページに左、右のときは右です。
- **委員** いいか悪いかは分かりませんけれども。
- **委員** 水原さんがいる。
- **委員** でも「差し替えを含め検討」と書いてある。
- **委員長** 差し替えがありましたか。
- **委員** 通訳の方が載っているので、「掲載箇所の差し替えを含め内容に関して変更の対応を検討しています」。
- **委員** 教科書に載るとか載らないとか。それなんだ。
- **委員** 3枚ぐらい載っています。
- **委員** 「どのように支えているのだろう」というチェックが入っていますけれども。
- **委員** 支えてもらっていたという。
- **委員** 差し替えとなると、また検討に。
- **委員長** 大体、全て出ましたか。吉田さん、調査委員会のほうで追加はありますか。
- **担当** 大丈夫です。
- **委員長** それでは。英語は。
何かありますか。
- **委員** 英語だけ確実にデジタル教科書になるのですよね。だから、それを想定しながら、こちらの役割みたいところで見ていたのです。
そうすると、「聞く」「話す」はいいのだけれども、やはり「書く」というところの視点で見ていたけれども、そんなに大きく違わない。でも、教科書の役割は多分英語だけはかなり違うのかなと。いわゆる、デジタルコンテンツも別にあまり気にしなくていいのかなと思いつつながら。デジタル教科書が入っていると。どちらかというと、この紙で何をするのかなというところで必要なことを。
でも、書くほうも意識して入っている教科書も多いので、そんなに差はないかもしれないけれども、そうしたら、こんな大きくななくてもいいのかなと思いつつながら、大きさは違うから、どんどんどんどんいろいろな教科の教科書が大きくなってきて、どうなのだと思います。
- **委員** 大きさはこんなに大きくななくていいのではないかと。美術とか、あのよう写真を見せるわけでもないで、そんなに大きい必要があるかなという気はしています。

- **委員長** 貴重な御意見、ありがとうございました。
では、英語はよろしいでしょうか。
ありがとうございます。
では、最後になります。道徳です。
文末に「学びの振り返り」というのがどこもついているのですね。記録が。
- **委員** 切り取って提出できるようになっています。
- **委員長** 何かありますか。
- **委員** これは、学ぶことというのは学年ごとに決まっているのですか。東京書籍は1年間で学ぶことみたいなのを書いてあって、日本教科書は特になさそうな感じがします。でも、「さまざまなテーマから」というのが。
- **委員長** 日本文教出版の一番後ろのところに内容項目別教材一覧というのがあるのですがけれども、道徳は、内容項目がこれぐらい分かれたものをバランスよくやっていくというのがあって、それを年間35時間扱っていくということになっているのです。
- **委員** それで、日本教科書では、最初の目次のところに現れている。
- **委員** ほかの科目と比べて、道徳は意外と文章を読ませるのだなと思ったのです。字が小さくて結構多いじゃないですか。そうすると、光村は白くない紙質で、コントラストがあまり強くない、目に優しいのかなというのは思いました。ほかのは紙がよ過ぎて目がチカチカしてしまうんで、字が小さい分、これをしっかり読もうとすると、これが一番読みやすいなと思いました。
- **委員長** 光村ですね。そういう比較でいいので、何かありますか。
- **委員** すごく文章が多い。国語より。
- **委員長** このまとめを読むと、教育出版は2番目ですよ。教育出版が、ポチの4番目なのですがけれども、「導入に発問があったり、教材末の発問が3つあったり、生徒が書き込む部分があったりして丁寧だが、教員の裁量による柔軟な授業展開がしにくいことがある」とか、「教員の説明を要約する語句が含まれており、読みごたえのある文章が多い」。難しいということかな。
- **担当** では、補足で。
- **委員長** お願いします。
- **担当** 教育出版の発問が3つというのは、ほかの教科書は発問が2つ、登場人物と自分なりのところなのなのですがけれども、教育出版は、最初に発問があって、最後に2つの発問があるので、結局、文京区の子供たちは真面目なので、全部その発問にちゃんと沿って答えなくてはいけないという状況になると、先生としては、その授業に沿ってやらなくてはいけないようになってしまうところかなかなか難しいかなという意見が出ました。
- **委員長** 東京書籍のNHK for Schoolの動画を使えるというのは、東京書籍ならではのですね。
- **担当** そういうわけではないです。

○ **委員長** 質問していいですか。

日本文教出版のまとめのところに書いてある2つ目で、「道徳ノート」が付属しているため、学んだことを振り返りやすいというのは。

○ **担当** これです。

○ **委員長** 下のほうにあった。これか。

○ **担当** はい。ほかの教科書会社さんは、中に書き込み式でしたり、あとは巻末についていたりというところなのですけれども、日本文教出版はこのノートにまとめられていて、これを子供たちが一冊でまとめられるというよさがあるという意見が出ました。

○ **委員長** だから、教員が自身でワークシートを作らなくてもいいから働き方改革につながるということなんだ。

○ **担当** はい。中を見ていただければと思いますけれども。

○ **教育指導課長** すごく簡素。

○ **担当** そういことです。一々々々、こちらの意図で何か書くわけではなくて、かなり簡素なので、いかようにも使えると。

○ **委員長** 子供も書きやすいですね。表現しやすいというか。

○ **教育指導課長** これは教師も指示を出しやすいかもしれませんね。

○ **委員長** これはいいですね。今までなかった。

○ **委員** 教員はこれはすごくいい。

○ **委員長** 教員はこれは助かりますよね。

○ **委員** これだけでポートフォリオみたいな。

○ **委員** 日本文教出版、これはすごくいいと思うことが今分かりました。先生方から見たらすごくいいのしょうけれども、親から見たら訳が分からない。確かに授業してやるのだったら、こういうものがあつたほうが子供たちは分かりやすいのではないのでしょうか。

○ **委員長** 巻末のカードみたいなものよりも、このノートは使いやすいなど。

○ **委員** 多分、このようになっていなくても、プリントみたいに一回一回配つてどれもやる形になっているのですけれども、冊子になっていると、なくなったりしないし使い勝手がいいということだと思つたのです。これはカラーだし。

○ **委員長** どうですか。

○ **委員** 道徳は難しいですね。何を比較していいのかが正直。

○ **委員長** 今、どれを見ていらっしゃいますか。

○ **委員** 今、日本教科書を見ていたのですけれども、1年生のを見ていて、トピックがいろいろ面白いなどは思いました。こういうトピックを選ぶんだと。

○ **委員長** 道徳らしい教科書ですね。

あかつき図書、あかつきは何かありますか。あかつきも触れてください。

これもUDフォントですね。文字が見やすいぐらいですね。

○ **教育指導課長** 比較的、このタイプの大きさの教科書のほうが、文字が見やすくて、

やはり読み物教材なので、子供たちが読みやすいほうがいいのかなとはすごく思います。

○ **委員長** 比べてGakkenはどうですか。Gakkenが大きいのですよ。

○ **教育指導課長** 教科書は大きいのですけれども、中の改行のスペースとかを考えると、こちらの、例えば教育出版とかあかつきとか日本文教出版のほうが、広げたときに読みやすいと思います。

○ **委員長** 詰まった感じがしますよね。

○ **委員** 改行の話なのですけれども、Gakkenの1年生の160ページ、たまたま見つけたのですが、右側のページに挿し絵が無理やり入っていて、改行が多過ぎて、これはちょっとどうかなど。

○ **教育指導課長** 読みづらいですよ。

○ **委員** これはちょっと。こんなに挿し絵を入れなくてほしい。レイアウトに無理がある感じがします。

○ **委員** 右と左の絵のサイズを調整すれば収まったのでは終わってしまうけれども。

○ **委員** そういうのがいっぱいあるわけでもなさそうなのですけれども。

○ **教育指導課長** でも、174ページもページ数のところに犬の写真が写ってしまったり、かなりぎりぎりに使ってしまった。

○ **委員長** 詰め込んだ感がありますね。

大体全部の教科書に振れましたか。

では、一通りほかを見て、プラスの御意見はございますでしょうか。

大丈夫ですかね。

時間を過ぎてしまいました。すみません。ありがとうございます。

では、道徳はこれで終わりにしたいと思います。

では、時間となりましたので、本日の審議についてはここまでにしたいと思います。ありがとうございます。

それでは、本日の審議内容についての答申文のまとめ方について、副委員長のほうからお願いいたします。

○ **教育指導課長** 前回に引き続き効率よく御審議いただきまして、誠にありがとうございました。本日、皆様からいただいた御意見を事務局で答申文案としてまとめさせていただきました。次回、7月2日の審議会のときに内容を御確認いただく形を取らせていただければと考えておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「はい」と声あり)

○ **教育指導課長** そのことについて、次回の審議会で審議できればと存じます。よろしくお願いいたします。

○ **委員長** それでは、副委員長から御説明があったとおりですが、今回も前回同様、事務局に答申文案のまとめを作成していただきたいと思います。次回には答申文の案が今回と同じように提示されるところでございますというか、国語から全てということですよ。

それを、今度は教科書ではなく、審議した内容を皆さんで確認していただくということですよ。

○ **担当** はい。

○ **委員長** それでは、次回は7月2日の、また18時からになります。御多用とは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○ **担当** 最後に、配付資料ですが、資料2のほうに第2回目の議事録を配らせていただいております。内容を見ていただきまして、もし何かお気づきのことがございましたら、また御連絡をいただければと。または、第4回のおきにお伝えいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○ **委員長** それでは、議事録のほうも何か次回までに意見があれば、事務局のほうにお願いいたします。

それでは、本日は以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。